

第五十一回帝國議會
衆議院

勞働爭議調停法案(政府提出)外一件

(勞働爭議調停法案(政府提出)
治安警察法中改正法律案(政府提出)
勞働組合法案(政府提出))

委員會會議錄(速記)第八回

會議

大正十五年三月十七日(水曜日)午後二時九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 森田 茂君

理事 杉浦 武雄君

理事 安藤 正純君

理事 藏園三四郎君

理事 山口 政二君

高橋元四郎君

木村三四郎君

内ヶ崎作三郎君

比佐 昌平君

木暮武太夫君

有馬 賴寧君

渡邊 伍君

秦 豐助君

栗林 五朔君

本多貞次郎君

清瀬 一郎君

三月九日委員多木久米次郎君同月十七日委員加藤綱一君、谷原公君、有馬賴寧君、濱田國松君孰レモ辭任ニ付其ノ補

關トシテ同月九日谷原公君同月十七日木村三四郎君、浦野謙朗君、秦豐助君、有馬賴寧君ヲ夫々議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官 俵 孫一君

內務參與官 鈴木富士彌君

社會局長官 長岡隆一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

勞働爭議調停法案(政府提出)

治安警察法中改正法律案(政府提出)

勞働組合法案(政府提出)

○森田委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス——一寸都合ガアリマスルカラ一時休憩ヲ致シマス

午後二時十一分休憩

午後二時二十八分開議

○森田委員長 ソレデハ休憩前ニ引續キマシテ開會致シマス、本多君ヨリ以前ニ質疑ガアリマシテ、丁度其機會ガ

ナカッタノデ、簡單ナ質問デアルカラ本日許シテ貰ヒタイト云フコトデアリマ

シタガ、前例モアルヤウデ、簡單ナコトデアリマスト別ニ許シマシテ問ヘナイ

ト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○森田委員長 御異議ナシト認メマス、ソレデハ本多君ニ許シマス——本多君

○本多委員 實際問題トシテ伺ヒマス、只今私ノ關係シテ居リマス本所押上ヨ

リ千葉ニ行キマス電車デアリマスガ、是ガ爭議ニ繫ラントシテ居ルノデアリ

マス、是ハ東京ノ電車ノ自治會——餘

リ評判ノ宜シクナイ自治會ガ、先般王

子電車ヲ相當攪亂致シマシテ、其餘波

ヲ以テ京成電車ニ這入ッテ來マシテ、約

半數許リ従業員ヲ同盟ノ中ニ引入レマ

シタガ、半分ハ穩健派ガアリマス、サウ

致シマスト昨今此自治會ノ連中ガ、毎

日五十人或ハ百人控室ニ侵入シテ、亂

暴ハ致シマセヌケレドモ穩健派ヲ誘惑

シテ、非常ニ困ラセテ居ルノデアリマ

ス、是ガ日々サウ云フ狀態デアリマス

ガ、長イ月日ニハ皆穩健派モ彼等ニ蹂

躪サレテシマフノデアリマス、亂暴ハシナイ、亂暴ヲシナイデ、控室ニ入込ンデ、三十人位ノ所ヘハ八十人、八十人位居ル所ヘハ二百人モ入込ムノデアリマス、ソレハ高砂ト申ス所デゴザイマスカラ、巡查ナドハ居ラナイ、隨テ取締ガ付キマセヌ、從來ノ遣方トハ大ニ變ッテ來テ居リマス、是等ノ取締ニ付テハ如何ニ爲サルノデアリマス、若シ此京成電車ノ遣方ガ成功シタリトスレバ、各方面トモ此手デ行クデアラウト思ハレマス、少シモ亂暴ヲセズ、唯毎日詰掛ケテ、次第ニ誘惑スル、段々ニ赤クスルノデアリマス、斯ウ云フ場合ノ取締ハドウ云フ方法デ爲サルノデアルカ、マダ爭議ガ起ッタト云フ程デナイ、極ク穩カナ遣方デアリマス、又仕事ノ上ニモ直接ニ差支ガアル譯デハナイ、故ニ勞働爭議調停法ニハ當箇ヲヌカト思ヒマス、今後斯ウ云フコトハ各方面ニ突發

スルト考ヘマスカラ、一應實際ヲ申上

ゲテ、政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒ

マス、多數ノ勞働者ヲ使ヒマス方面ニ

ハ、大ニ關係ガアルト思ヒマスカラ、伺

テ置キタイト思ヒマス

○長岡政府委員 只今ノ京成電車ノ爭

議發生ノ狀況ニ付キマシテハ、甚ダ迂

濶ナコトヲ申上グルヤウデゴザイマス

ガ、私ハマダ、詳細ノ報告ヲ接受シテ居

リマセヌ、或ハ役所ノ方ニハ參ッテ居ル

カ知レマセヌガ、マダ見テ居リマセヌ

カラ、實際ノ狀況ニ付テ詳シク御答ス

ルダケノ材料ヲ持ッテ居リマセヌ、ケレ

ドモ爭議調停法ノ所謂勞働爭議ナルモ

ノハ、同盟罷業ト云フ程度ニ至リマセ

ヌデモ、勞資ノ間ニ爭ガ起リマシタ時

ニハ、勞働爭議ト言ヒ得ル場合ガアラ

ウト思ヒマス、只今本多サンノ御述ニ

ナリマシタヤウナ狀況デアリマスレ

バ、其事ヲ勞働爭議ト看做シテ之ニ強

制調停ヲ命ズルコトモ將來ハ出來ルト

思ヒマス、唯狀況ガドウ位ノ程度マ

デ進ンデ居ルカハ詳細ノ報告ニ接シテ

居リマセヌノデ、ハッキリ申上ゲラレマ

ヌセガ、只今御述ニナリマシタ程度マ

デ行ッテ居レバ、勞働爭議ガ發生シタモ

ノト認メラレルト思ヒマス

○本多委員 會社ノ營業者ガ彼此レ

ルト云フノデアリマセヌ、會社ノ從

業員ハ何モシナイ、他カラ來タ者ガ詰

所ニ五十人モ百人モ百五十人モ入込
デ、穩健派ヲ壓迫スル、併シ今日息業ト
云フ風ノコトモシナイ、罷業ト云フコ
トデモナイ、誠ニ穩カナ遣方デアリマ
ス、警察ノ取締ヤ、勞働爭議ノ十九條ニ
牴觸スルヤウナ事ヲスルト不利デスカ
ラ、法律ヲ潛ツテヤルヤウナ風ノコトヲ
スル、サウ云フコトハ此邊デハ私ノ關
係シテ居ル京成電車ガ「ストライキ」モ
一番早ク、大正七年ニ喰ツテ居リマス、
今回ハ今申サウナ遣方デアリマス、
從業員ガ怠業デモヤルナラ取締モスル
デアリマセウガ、サウ云フコトモシナ
イ、唯詰掛ケテ穩健派ヲ段々撲滅シヤ
ウトスルノデアリマス、斯ウ云フコト
ハ近來ノ發明ダト思ヒマス、是ガ成功
スレバ必ズ他ノ會社ニモ及ンデ行クダ
ラウト思ヒマス、今大勢來テ居ルノハ
理事會ノ連中デゴザイマス、又其中ニ
ハ浮浪ノ者モ交ツテ居リマス、斯ウ云フ
方法ニ對シテノ取締ハ困難デハナカラ
ウカト切ニ感ジマシタ、是ハ一ツ十分
ニ御考慮ヲ煩シテ置キタイト思ヒマス

○森田委員長 ソレデハ是カラ討論ニ
入ル筈デアリマスガ、今藏園君カラ此
問題ニ付テ少シク研究シタイカラ、二
三十分休憩シテ貰ヒタイト云フコトデ
スガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○森田委員長 ソレデハ三十分ダケ休
憩致シマス

午後二時三十八分休憩

午後三時十七分開議

○森田委員長 是ヨリ開會ヲ致シマ
ス、討論ニ入ルニ先ダチマシテ、原夫次
郎君カラ簡單ニ政府ニ對シテ確メヲシ
タイト云フコトデアリマスカラ、之ヲ
許シタイト思ヒマス——原夫次郎君
○原(夫)委員 吾々ハ此勞働爭議調停
法ナルモノハ、勞働組合法ニ先ズベ
キモノデナイト實ハ是迄考ヘテ居ッ
タデアリマス、併ナガラ此調停法ガ制
定セラレテ、組合法ガ制定セラレナイ
場合ニ於テモ此爭議ヲ調停スル上ニ於
テハ、是ハ一步先ンジテモ差支ナイモ
ノデアアル、況ヤ勞働組合法ニ付テハ吾
吾ガ正當ナル——至當ナル法條ノ改廢
ノ下ニ協賛ヲ爲スコトハ、是ハ現下ノ
社會ニ照シテ必要ナル事ト信ジテ居リ
マスガ故ニ、尙更以テ此勞働爭議調停
法ナルモノハ、是ハ獨立シテモ早ク
通過セシメタイト云フ希望ヲ持ッテ居
ル者デアリマス、所デ此調停法ノ第十
九條ノ規定ナルモノハ、是ハ一面ニ於テ
治警十七條ノ廢止ト共ニ茲ニ罰則ヲ制
定セラレタ法條デアリマシテ、此十九條
ノ罰則ナルモノガ現行法ノ治警十七條
ヨリカ範圍ガ廣イモノデアアル、若クハ
是ヨリカ更ニ多大ノ疑義ヲ生ズルモノ
デアルトスルナラバ、是ハドウアッテモ
刑罰法規タル本質上許スベカラザルコ
トデアルト思フデアリマス、ソコデ

私ハ此委員會ニ於テ十九條ノ此罰則ノ
中デ「現ニ其ノ爭議ニ關係ナキ者ハ」ト
云フ文字、尙ホ次ノ「當事者ヲ勸誘スル
コトヲ得ス」トアル、其當事者ト云フ意
義ニ付テハ、此規定デハ甚ダ不十分デ
アル、即チ刑罰法規ハ一面ニ於テ、法ナ
クレバ刑罰ナシデ、法律ノ規定ト刑罰
ノ條項ナルモノハ、カッキリ明白ニ之ヲ
規定シナケレバナラヌト云フコトヲ段
段主張シテ居ルノデ、政府當局ニ於キ
マシテハ色々議論ヲ練ラレテ、其爭議ニ
關係ナキ者ト云フコトハ、ソレカラ次
ノ當事者ト云フコトニ付テ大變長イ説
明ガアッタデアリマス、所デ之ヲ色々
ニ研究致シタ結果、私ノ私案ト致シマ
シテ、現ニ其爭議ニ關係ナキ者ト云フ
此範圍ト云フモノハ、即チ現ニ其爭議
ニ關係アル使用者及勞働者、竝ニ其屬
スル使用者團體及勞働者團體ノ役員及
事務員以外ノ者、斯ウ云フコトニ解釋
上此文字ヲ變ヘナケレバナラヌヤウニ
考ヘラレルノデアリマスカラシテ、此點
ニ向ッテ政府ノ御所見ハ如何デゴザイ
マスカト云フ事ト、ソレカラ次ノ當事
者ナル文字ハ、其爭議ニ關係アル使用
者又ハ勞働者、斯ウ云フコトニ相成ラ
ナケレバナラヌト思フデアリマス、第
三ト致シマシテ十九條ノ規定ニハ、是
等ノ者ヲ勸誘スルコトヲ得スト云フ文
字ニナツテ居ルノデアリマシテ、之ニ就
テハ當委員會ニ於テモ甚ダ議論ガアッ
テ、質問應答ガアッタデアリマスガ、結

局其意義タルヤ現行治警法ノ第十七條
ノ「勸誘若ハ煽動」ト云フ文字ト變リハ
ナイ、斯ウ云フ政府者ノ説明デアリマ
スルガ故ニ、此勸誘ト云フ文字ハ何人
ガ見テモ甚ダ意義ガ漠然ト致シテ居ル
感ジガスルノデアリマス、若シ政府者
ノ解スルガ如ク致シマシタナラバ、從
來使用シ來ッタル所ノ煽動若ハ誘惑ト
云フ文字ニ變ヘテモ、其方ガ差支ナイ
ノミナラズ又字義ガ明瞭デアラウト考
ヘルノデアリマス、以上三點ニ付テ念
ノ爲ニ茲ニ確メテ置ク次第デアリマス
○俵政府委員 只今ノ御尋ノ第一ノ點、
即チ現ニ其爭議ニ關係ナキ者トアル代
リニ、現ニ其爭議ニ關係アル使用者及
勞働者、是ハ原案ハ關係ナキ者ト云フ、
關係ナイ方ノ側ノ意義、只今ノ御意見
ハ關係アル方ノ側ノ意義ヲ現ハスト云
フコトデアアルヤウデアリマス、其範圍
モ大體原案ニ意味スル所ノ範圍ト違ハ
ナイヤウデアリマシテ、之ニ就テハ文
字ノ表ト裏トノ現ハシ方デアリマスカ
ラ、強テ之ニ就テ、當局者ハ、只今ノ御
修正ノ意見ニ付テ反對ノ意思ハゴザイ
マセヌ、第二ノ其爭議ニ關係アル使用
者若クハ勞働者、斯ウ云フコトニ直シ
タラドウカト云フコトデアリマスガ、
是ハ前案ハ關係アル當事者、斯ウ云フ
當事者ノ文字ノ代リニ使用者若クハ勞
働者、是モ唯當事者ト云フ意義ニ別ノ
現ハシ方ヲシタノデアリマシテ、強テ
是モ原案ト變ッタ事ガナイヤウニ思ヒ

マス、ソレカラ第三ノ勸誘ト云フ文字ヲ誘惑煽動ト云フコトニ變ヘテ見タラドウカ、斯ウ云フコトデアリマスガ、勸誘ト云フ文字ト誘惑煽動ト云フ文字ハ、普通ニ考ヘマスルト或ハ違フヤウニモ考ヘラレマスガ、是ハ大審院ノ判決ニ於テモ誘惑煽動ト云フコト、勸誘ト云フコトニ付テハ、同様ニ解シテ居ル事例モアルノデアリマスノデ、是亦勸誘ヲ誘惑煽動ト云フコトニ變ヘルト云フ今ノ御趣意ハ、強テ前ノ原案ト變リハナイヤウニ思ヒマス、何レモ右様ナ考デアリマスカラ、左様御了承ヲ願ヒマス

○森田委員長 原君何デスカ、貴方ノ御質疑ハ修正ト云フノデナイ、意義ヲ質シタモノデゴザイマスナ
○原(夫)委員 サウデゴザイマス
○森田委員長 ソレ宜シウゴザイマスナ
○原(夫)委員 宜シウゴザイマス、後ニ修正意見ヲ提出致シマス
○森田委員長 是ヨリ討論ニ入リマスガ、討論ノ順序ニ付テ山口君ヨリ御發議ガアルヤウニ聞キマシタガ、御發議ガアリマスカ——松浦君デゴザイマスカ……

○山根委員 本日ハ労働爭議調停法ト治安警察法中改正案ニ關スル件、此二件ダケヲ討論採決爲サレンコトヲ希望致シマス
○山口委員 此三案ニ對スル質問ハ既ニ終ッテ居ルノデアリマスカラ、最モ根

本法デアル所ノ労働組合法、是カラ先ヅ採決ヲサレルノガ順序デアルト思フノデアリマス、只今山根君ハ是ダケヲ除イテ、先ニ決定スルト云フノハドウ云フ譯デアリマスカ
○山根委員 本委員會ニ付託セラレマシタ際ニ於テ、治安警察法ノ改正案ト労働爭議調停法、此二案ガ先ニ本會議ニ於テ質疑應答セラレマシテ、此委員會ニ付託サレタノデ、既ニ出發點ニ於テ別々ニ取扱ワサレルコトヲ吾々ハ承認ヲ致シテ今日マデ來タノデアリマス、故ニ若シ三案ニ付テソレノ意見ガ玆ニ決定シテ、之ヲ同一日ニ決定スルト云フコトモ敢テ差支ナイトハ思ヒマス、強テ反對スベキ理由モアルマイト思ヒマスケレドモ、又必シモ同時ニ採決シナケレバナラヌト云フ理由モアルマイト考ヘマスカラ、吾々委員會ノ都合モアリマスカラ、此際先ニ付託セラレマシタ二案ニ付テノミ、此際速ニ此委員會ヲ終結致シマシテ、本會議ニ送り、更ニ貴族院ニ送ッタ方ガ、議事ノ進行上好都合デアラウト存ズルノデアリマス

「贊成」ト呼フ者アリ」
○安藤委員 成程今山根君ノ云フ通りニ、提出ニナッタノハ組合法ニ調停法ニ、治安警察法ノ改正ト云フコトニ、別ニナッテ居リマスケレドモ、既ニ澤山ノ質問ヲシテ質問終了ノモノデアリマス

ルシ、更ニ餘ス會期ハ極メテ僅カデアリマスカラ、最早組合法ヲ殘シテ置イテモ、何ノ爲ニ後日ニ廻スカ其理由ガ一向分ラナイ、ソレヨリモ政府與黨タル憲政會ニ於テ、此労働組合法ヲ今議會ニ於テ、早く通過セシメルト云フ誠意ガアルナラバ、寧ロ反對ニ一日モ早く今日委員會ヲ決定シテ、早く本會議ニ廻スト云フコトヲ望ム方ガ至當チヤナイデスカ、私ハ即チ山根君ノ動議ニ反對ヲ致シマシテ、三案共本日採決ヲセンコトヲ望ム者デアリマス

○森田委員長 山根君ノ先ヅ労働爭議調停法案ト、治安警察法中改正案ノ二案ノミノ討論及採決ヲ爲スト云フ御意見ニ、贊成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス
「贊成者舉手」
○森田委員長 多數ト認メマス、ソレデハ討論、採決ノ順序ヲ、先ヅ此二案ノミニ限リマシテ進行致シマス

○原(夫)委員 此場合先キノ質問ノ趣意ニ基イテ、労働爭議調停法第十九條中ノ「現ニ其ノ爭議ニ關係」其下ニ「ナキ」トアリマス、其「ナキ」ト云フ二文字ヲ削リ、代リニ其「關係」ト云フ文字ノ次ニ「アル使用者及労働者並ニ其ノ屬スル使用者團體及労働者團體ノ役員及事務員以外ノ」ト云フ是ダケノ文字ヲ入レテ、サウシテ先ニ削リマシタ「ナキ」ト云フ下ノ「者」ト云フ字ニ連續ヲセシメル、次ニ此第十九條第一項ノ末段ノ「當事者ヲ勸誘スルコトヲ得

ス」ト云フ是ダケノ文字ヲ削リマシテ、其ノ代リニ「其ノ爭議ニ關係アル使用者又ハ労働者ヲ誘惑若ハ煽動スルコトヲ得ス」是ダケノ文字ヲ附加ヘルノデアリマス、斯ウ云フ修正ノ動議ヲ提出致シマス、此理由ト致シテハ、今此ニ改メテ申上グルマデモナク、私ガ先キニ政府委員ニ質疑ヲ致シマシタカラ、ソレニ依テ御了解ニナルコト、思ヒマス、ソレヲ引用致シテアルノデアリマス、尙ホ御質疑ガアルナラバ、私ナリ又政府者ナリ答辯ヲ申上ゲマスル

○原(惣)委員 只今原君ノ修正ガ出マシタヤウデアリマスガ、何故ニ先ヅサウ云フ範圍ニ限定シナケレバナラヌカト云フコトガ一つ、モウチット廣義ニモ解セラル、デハナイイカト云フコトヲ疑フノデアアル、十九條ノ所謂、修正ハ其根本趣旨ニ何等關係ガナイノデアリマス、サウシテ徒ニ括弧ニ入レテ、法文ノ體裁カラ云ツテモ、括弧ノアル法文ハ民事訴訟法中ノ獨逸ノ譯文見タヤウナ、出來損ヒノヤウナモノデ、體裁ガ宜クナイデヤナイイカト思フ、モウ一つハ労働團體ト言ハレタガ、屢此技術上ノ聯合團體モ認メルト政府モ説明ニナッテ居ルノデアリマスカラ、其労働團體ト云フモノハ如何ナル範圍ノ労働團體ヲ云フノデアルカ、例ヘバ組合聯合體ヲ將來ニ於テ當然認メラルベキ傾向ニナッテ居ルノデアリマス、是ハ如何ナル範圍マデノ労働團體ト云フノデアルカ、

其點ニ付テ伺ヒタイ

○原(夫)委員 只今ノ御質問ニ御答致シマスガ、先ヅ冒頭ニ私ハ括弧ヲ入レルナント云フコトハ申シタコトハナイ、括弧デハナイト云フコトヲ申上ゲテ置ク、ソレカラ次ニ是ハ刑罰法規デアリマシテ、人ノ爲スベキ事、爲サルベカラザル事、ハッキリ其限界ヲ附ケナケレバ、本法ガ豫想致シテ居ル所ノ勞働爭議ガ今後頻繁ニ起ルモノデアルト云フコトヲ豫想スレバコソ、此法律ヲ吾ミハ協賛ヲ與ヘルノデアリマス、ソコデ其頻々タル爭議ガ起ル場合ニ於テ、治安警察法ノ十七條ガ廢止ニナリ、之ニ代ッテ此誘惑煽動ヲ爲ス者ヲ罰セナケレバナラスト云フ場合ニ、當局官憲ノ認定次第デ、此法律ノ規定ガ曖昧デアルナラバ、此事項ニ觸レル者ハ罰セラレ、此事項以外ノ者ハ罰セラレナイト云フコトニナルカラ、此獨逸語「ノルム」、法理、法規、法ノ規範ト云フコトヲ明確ニ定ムルニ非ザレバ、此運用ハ國家人民ノ爲ニ非常ナ損害ヲ與ヘルト云フコトヲ、吾ミハ憂フルノデアリマス、ソコデ「爭議ニ關係ナキ者」ト云フ場合ニ於テ、此文字デ果シテ何レノ範圍ヲ言フカト云フコトハ、質問者自身ガ之ヲ御研究ナッタラ、私ガ茲ニ諄々シク申上グルマデモナク、御了解ニナルコト、思ヒマス、況ヤ次ノ「當事者」ト云フ文字モ矢張同ジコトデアリマス、他ノ法ニ使ッテ居ル所ノ「當事者」ト、十

九條ニ書イテアル「當事者」トハ字義ガ違フノデアリマス、此十九條ノ立テ方ハ、之ヲ詳シク説明セヨト云フナラバ、半日位ノ説明ヲ致シテモ差支ナイト思ヒマスガ、私ハ——質問者自身ガ原案ノ通りデ宜イト云フ譯ヲ、寧ロ私ハ先ニ御尋シテモ宜シイト思ヒマス「爭議ニ關係ナキ」ト云フ文字ダケデハ分ラナイノデアリマス、是ハ隨分ヤ、コシイヤウデアリマスガ、ドウゾ一ツ沈思默考、能ク此修正ノ文字ヲ御覽ノ上デ一ツ御指摘ヲ願ヒタイト思ヒマス

○原(惣)委員 私ノ關係ナキト云フ言葉ハ、關係ノアル者ノ範圍——大抵ノモノハ關係ノアル範圍ニ入ルモノデアルト云フコトヲ前提トシテ申シテ居ル、ソレデアリマスカラ罰則規定ハ最も狹義ノ範圍ニ限定サルベキモノデアリマセウ、即チ他ノ聯合體マデモ將來事實認メルノデアルカラ、サウ云フモノハ關係ノアルモノデアアル、關係アル者ノ罰セラル、モノガサウ云フ風ニナルト、勞働團體、所謂原君ノ勞働團體ト云フモノハドウ云フ範圍ニ限ッテ罰スルノデアアルカ、勞働團體ト云フ意味ハドウ云フ意味ノ勞働團體デアアルカト云フ事ヲ御伺スルノデアリマス

○原(夫)委員 修正シタ文字ヲ能ク御承知ニナッテ居ルカドウカ、詰リ全然同ジナノデアリマス、爭議ニ關係ナキ者ト云フコトノ註釋的ニ、具體的ニ之ヲ書現シテ修正シタ、此文字ノ最後ニ矢

張以外ノ者ト云フコトデアリマシテ、此關係ナキ者ト云フ其法文ノ意味ヲ何等動カシテハ居ナイ、現ニ其爭議ニ關係スルト云フコトダケ、其關係スルト云フコトガ何デアアルカト云フコトヲ現シタノデアリマスカラ、能ク修正ノ文字ヲ御覽ニナッテ御分リニナルト思フカラ、之ヲ一ツ御覽ヲ願ヒタイ、ソレヲ御覽ニナッテナラバ原君ハ法律學者デアアルカラ、直グニ能ク御了解ニナルト確信スル

○森委員 議事進行ニ付テ一言——私共ハ既ニ決ヲ採ラレルコトニ多數ニ依テ決定シタコトデアリマシテ、此際如何トモ致方ガナイノデアリマスガ、後ノ爲ニ一應政府ニ質シテ置キタイノデアリマス、即チ此委員會ニ付託セラレタル三案ノ中デ、吾ミノ頭ニハ此政府ノ精神ノ籠ッテ居ルノハ即チ勞働組合法案デアルト了解シテ居ルノデアリマス、本會議ニ於テ政府ヨリ堂々ト御説明ニナリ、又與黨タル憲政會ノ諸君ノ議論ヲ拜聴致シマシテモ、此部分ニ最モ精神ガ籠ッテ居ルト思フ、而モ此三案トモ既ニ質問モ終了致シテ、決ヲ採ルバカリニナッテ居ル、此際ニ何故ニ組合法案ヲ延バシテ、他ノ二案ヲ唯前ニ提案セラレタト云フ單一ナル理由デ爲サレタカト云フコトニ付テハ、私共ハ了解ニ苦ムノミナラズ是ガ吾ミ政友會或ハ政友本黨ノ諸君カラ提議セラレテ斯ク御取計ヒニ相成ルナラバ分ル話デア

リマスガ、與黨ノ憲政會ノ諸君カラ斯ク御主張ニナルト云フニ至ッテハ、吾ミハ奇怪ニ堪ヘナイ、茲ニ御伺シテ置キタイノハ、一體何時頃此決ヲ採ラレルノデアアルカ、又政府ハ斯様ナコトデ本案ガ速ニ通過シ得ルカト云フコトニ付テ、如何ナル御考ヲ御持チニナッテ居ルカ、之ヲ後日ノ爲ニ質シテ置キタイ

○森田委員長 何時頃次ヲヤルカト云フコトヲ委員長ニ御確メデアリマスカ

○森委員 是ハ委員長ニ御尋シテモ、委員長ハ此光景ヲ見テ御答ニナルニ相違ナイト思ヒマスカラ、委員長ニ御質スルノデハアリマセヌ、政府ハ之ニ對シテ如何ナル御觀察ヲ御持チニナッテ居ルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○依政府委員 此三案ヲ提案シテ共ニ御審議ヲ願ッテ居ルノデアリマスガ、只今一寸御話ノ如ク、勞働組合法案ハ政府ハ最重要法案ト思ッテ居リマス、隨テ此組合法モ調停法モ又治警法モ、三案共ニ出來ルダケ早ク御審議ヲ願ッテ、可決ノ上デ貴族院ニ送付スルコトヲ希望致シマスガ、委員會ノ御都合デ是ガ今日ニ延ビタコトヲ甚ダ遺憾ト致シマス、今日ニ於テモ矢張政府ハ何所マデモ出來ルダケ早ク御審議ヲ願ッテ、サウシテ貴族院ニ送付ノ手順ニ致シテ貰ヒタイノデス、ドウ云フ理由デアリマスルカ、只今御覽ノ通りニ多數ヲ以テ組合法ハ後廻シニシテ、他ノ二案ヲ此際討論ニ入ルト云フコトニナッタノデアリマ

スガ、其理由ハ私モ知リマセヌ、知リマセヌガ、斯クナツカヲ云ツテ、此三案ハ必シモ政府モ之ヲ不可分ノモノトハ思フテ居リマセヌ、矢張一ツノモノヲ殘シテ二ツダケ討論ニ入ラレテモ、決シテ不可分ノモノトハ思フテ居リマセヌガ、願クハ政府ト致シマシテハ前來申シマス通りニ、少シモ早く三案トモ御審議ノ上、一日モ早く貴族院ニ廻ルヤウニ御願シタイ

○田中委員 私ハ原君ノ修正ニ賛成ヲ致シマス、原君ノ修正ハ只今御聽キノ通り、此第十九條ト云フノハ治安警察法ノ第十七條ニ代ルベキモノデアリマシテ、個人ノ權利ノ上ニ重大ナル關係ノアル規定デアアル、其法文ニ聊カデモ迷ヒヲ起シヤウナル、隨テ其適用ノ範圍ニ錯誤ノ生ズベキ虞レノアルコトハ、吾トシテモ慎重ニ考ヘナケレバナラス、其意味ニ於テ法律ノ字句ヲ明ニシテ、誰ガ見デモ、常識デ考ヘテモ、政府當局ニ於カレマシテモ、原文ヨリハ今度ノ修正分ノ方ガ意味ガ明ニナツテ居ル、趣意ニ於テ少シモ變リナクシテ、意味ガ明ニナツテ居ル、即チ此法律ノ適用ノ上ニ於テ錯誤ヲ來ス虞ガ甚ダ少イト云フノデアリマシテ、結構ナ修正ト存ジマスル故ニ、全然只今ノ修正意見ニ賛成致シマス

○内ヶ崎委員 私モ此第十九條ニ對スル原夫次郎君ノ修正案ニ賛成ヲ致シマス、前ニ政府ヨリ此法文中ノ當事者ト

現ニト云フコトニ對シテ謄寫版ヲ配付サレタノデアリマシテ、ソレヲ吾々讀ンデ見マスルト、大變丁寧ニ書イテアリマスケレドモ、餘リ精シ過ギテ一寸見テハ分リ難ルヤウニモ書イテアリマス、然ルニ原君ノ修正ニ從ヘバ用語ハ餘リ多クナク、比較的簡明デアリマシテ、内容ハ一層明カニナツタヤウデアリマスカラ、私ハ之ニ賛成致シマス

○原(惣)委員 私ハ只今ノ質疑ヲ續ケテ見タイト思ヒマス、賛成ノ意見ヲ承リマシタガ、第一ニ原君ニ伺ヒタイノハ、法規ハ嚴デナケレバナラス、曖昧デハイケヌト云フ御説デアリマスガ、私ハ之ニ替ヘルト云フ根本ハ、先ヅ政府ノ原案ノ「現ニ」ト云フコトノ説明ト「當事者」ト云フ説明ト其儘具體的ニ御現ハシニナツタモノト思ヒマス、ソコデ私共ハ刑罰權ハ嚴格ニ解サナケレバナラスノハ勿論ノコト、思ヒマスガ、之ヲ廣ク「現ニ關係ナキ者」ト簡單ニシテ於イタラ——刑罰法規ハ嚴ニ解サナケレバナラスカラ、左程廣ク罰スル必要ハナイト思ヒマス、隨テ「現ニ關係ナキ者」ハ反對ニ「現ニ關係ナル者」ト見テ刑罰法規ハ之ヲ罰シナイモノト思ヒマス、斯様ニシテ使用者團體、或ハ勞働者團體ト云フヤウナ名前ヲ徒ニ使用シテ居リマスガ、吾々ハ政府ノ説明ヲ屢聽キマスガ、廣ク解釋ガ出來ルヤウニ何處迄モ爭議ニ關係ナキ者ト云フ意味ガ宜イト云フコトヲ前提トシテ、

原君ノ此刑罰法規ハ嚴ニ解釋シナケレバナラスト云フ改制ハ、根本ニ外レテ居リハセヌカト云フコトヲ御聞キシタイ、ソレカラ勞働團體ト云フ言葉ヲ御使用ニナツテ居リマスガ、吾々共ハ聯合團體マデモ認メル御修正デアルト云フ勞働組合ヲ、勞働組合ノ修正、若クハ否決ト云フ各政黨ノ意見ヲ一括シテ、議題ニ供サナケレバナラスト云フコトガ、我黨ノ論旨デアアル所以デアリマス、ソレニ拘ハラズ、勞働團體ト云フ言葉ヲ用ヒマスガ、勞働法ト、ドウ云フ關係ニ於テ重大ナル影響ヲ及ボスノデアリマスガ、ソレカラ勞働團體ト云フノハドウ云フコトデアアルカ、其根本ヲ少シク明ニシテ貰ヒタイ、刑罰法規ハ嚴格ニ解サナケレバナラスト云フノハ如何ナル意味ノ嚴格デアリマスガ、之ヲ御聽キシタイ、ソレカラ「現ニ關係ナキ」ト云フコト、「當事者」ト云フコトヲ具體的ニ書キ現ハシテアリマスガ、モウ少シ政府ノ御豫定デナクシテ、特別ナ獨創ガアレバソレヲ御出シニナツタ方ガ宜シイカト思ヒマスカラ、此三點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○原(夫)委員 只今ノ御質問ニ御答致シマスガ、先ヅ第一番ニ刑罰法規ハ宜シク規定自體ノ見解ヲ明ニシナケレバナラス、斯ウ云フコトヲ先刻來申上ゲテ居ルノデアリマス、之ニ就テハ原君モ一部分御分リニナツテ居ルヤウデア

ル、ソレハ何故カト申スナラバ、一體此「現ニ爭議ニ關係ナキ者」ト云フ其範圍ハナキ者ト云フコトノ規定デアアルカラ、極メテ範圍ガ廣イノデアアル、其廣イ範圍ヲソレヲ更ニ具體的ニ現ハスト云フト、後ニ其範圍ガ餘リニ嚴格過ギテ却テ國民ノ爲ニ不利益デハナイカト云フ御質問デアリマスガ、是ガ原君ガ分ッテ居ルヤウデ分ラナイ質問デアルト云フ所以デアアル、先ヅ根柢ニ於テ「關係ナキ者」ト云フ事柄ガ字義ガ明ニナルナラバ「ネガティブ」デアアル、ト「ポジティブ」デアアルト、ソシナコトニハ關係ハナイ、「關係ナキ者」ト云フコトガ明ニナツタナラバ、何處迄モ限界以上ニ範圍ヲ超越スルコトハ、刑罰法規ニハナラヌノデアリマス、ソコデ私ハ「關係ナキ者」ト云フ範圍ヲ如何ニ定メルカト云フコトニ付テ色々考慮ヲ盡シタ結果、結局「關係ナキ者」ト云フコトハ私ガ修正意見ヲ以テ具體的ニ現ハシタル、此範圍ニ外ナラナイト云フノデアリマス、此限界ガ明ニ定ッテ、此法規ヲ實際ニ適用スル所ノ警察官デモ、檢事デモ、裁判官デモ、自ラ私ノ修正意見ニ從ハナケレバナラスコトニ相成ルノデアリマス、此限界ヲ定メズシテ唯原君ノ言フガ如ク曖昧模稜ニシテ置ケバ、却テ國民ノ爲ニナリハシナイカト云フ御考デアアルケレドモ、何ゾ圖ランソレハ決シテ國民ノ爲ニナルベキモノデナイ、法律ヲ適用スル人ミニ依テ皆見解ガ異ナルト

云フコトデアアルナラバ、國民ノ迷惑ハ非常ナモノデアリマス、是ガ先ヅ第一點ニ對スル答辯デアリマス、又第二點ト致シマシテ私ノ修正意見ノ中ニ勞働團體ト云フコト、若クハ使用者團體ト云フコトヲ申シタ爲ニ、此團體ト云フ意味ハ組合ヲ指スノデアルカ、或ハ聯合組合ノヤウナ場合ニ於テハ、如何ニ此團體ト云フ文字ヲ當倣ルカト云フ御質問デアリマスガ、其御質問ノヤウナ傾向ガアルガ故ニ、私ハ特ニ此團體ト云フ文字ヲ使ッテ居ルノデアリマス、此團體ノ中ニハ組合モ入レバ、其他ノ場合モ入リマセウ、要スルニ使用者ノ團體、若クハ勞働者ノ團體デアリマシテモ、ソレハ勞働組合法ガ制定セラレマシタナラバ、其組合ガ法人デアリマス故ニ、其組合ト云フモノハ、此中ニ入ルノデアリマス、何モ團體ト云フ文字ヲ使ッテ爲ニ此團體ニ疑義ヲ生ジナイ、伸縮自在ノ文字デアッテ、團體ト云フ範圍ガチヤント定ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ第三點ト致シテ何カ政府ノ説明シタルモノ以外ニ於テ私ノ獨創ニ成ル所ノ修正意見ヲ出スベキモノデアッテ、是ダケデハ物足ラナイト云フヤウナ御考ノヤウデアリマスガ、是ハ各自ノ意見デアリマシテ、私ハ唯立法技術ノ上ニ於テ此法律ノ字義ヲ明ニシテ、而シテ此原案ニ賛成デアリマスカラ、其字義ヲ明ニ致シタノデアリマス、若シ此外ニ尙ホ修正意見ガアルト云フコ

トデアッタナラバ、修正意見ヲ御提出ニナッタ方ガ宜シト思ヒマス、私ノ意見トシテハ私ノ修正意見ヲ以テ最上ノモノト心得テ居ルノデアリマス

フモノハ組合法ガ制定セラル、曉ニ其組合法ニ所謂組合ト云フモノガ一ノ團體ニナル、又組合法ニ於テ或ハ聯合組合ト云フモノヲ認メタナラバ、ソレガ一ツノ大キナ組合團體ト云フコトニ解セラルルノデアリマス、玆ニ規定シテアル所ノ團體ト云フモノハ、其場合ニ於テハ即チサウ云フ意味ニ解セラル、又若シ勞働爭議調停法ガ未ダ制定サレナイ今日ニ於テハ、即チ現在ニ於テハ法人ニアラザル團體ハ現實ノ組合トナッテ居ルノデアリマス、デアアルカラ團體ト云フモノハ極メテ伸縮自在デアッテ、字義極メテ明瞭ナモノデアッテ、今後此法律ヲ制定シテ置イタナラバ、適用スル上ニ於テ極メテ時宜ニ適シタル適用ヲ爲シ得ルノデアリマス、又吾々ノ理想ト致シマシテハ、調停法制定前ニ勞働組合法ガ出來マシタナラバ尙更ニ結構デアリマス、是ハ結構デアアルモ違ナイケレドモ、勞働組合法ナルモノハ吾々議員間ノ色ミナ審議ノ便宜上、之ヲ後廻シニスルト云フコトハ何等差支ナイコトデアッテ、是ハ吾々ニ付託ヲ受ケテ居ル委員會ノ多數ノ御意向ニ從ッテ進ムベキモノデアルト思ヒマス、何モ其爲ニ調停法ノ十九條ノ修正ニハ毫末モ支障アルベキモノデハナイト思ヒマス

タノデアリマス、此修正案ノ前提ト致シマシテハ極メテ重大ナル前提ガアルノデアリマス、只今ノ皆サンノ御演説ヲ承ッテ居リマスルト、治安警察法第十七條ト云フ多年ノ懸案デアアル此惡法ヲ廢止スルト云フガ爲ニ、其代リニ爭議調停法ヲ出シタノデアアルカラ、此法ニ於テ嚴重ニ範圍ヲ限定シナケレバナラヌト云フ御議論デアリマスガ、サウ致シテ見マサルト、治安警察法第十七條ト云フモノヲ廢シテ一時輿論ニ聽從シタヤウデアアルガ、一方デハ爭議調停法ト云フモノヲ出シタト云フ御意見デアリマスガ、政府ハ之ニ對シテサウ云フ前提ノ下ニ此爭議調停法案ヲ出サレタノデアリマス、其點ヲ伺ヒタイ

○原(夫)委員 一寸議事進行ニ付テ、嚴ニト云フ字ハ嚴重ノ嚴デハナイ、現在ノ現デアリマス

○長岡政府委員 木暮君カラ御質問デゴザイマシタガ、私ノ聞誤リカハ存ジマセヌガ、只今ノ前ノ御演説中ニハ、治安警察法ノ代リニ爭議調停法ヲ出シタト云フコトハ、ハッキリシタ御言葉ハナカツタヤウニ思ヒマス、又政府ノ所見ハ過日來委員會各位ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲタ通りデアリマス

○清瀨委員 此案ニ賛成デアリマス、而シテ追テ是等ノ理由ハ本會議ニ於テ明ニナルト思ヒマス(原案賛成デスカ)ト呼フモノアリ)イエ修正案デアリマス——明ニナルト思ヒマスガ、一

中君ノソレニ對スル賛成演説ヲ拜聽シ

○原(夫)委員 原惣兵衛君トモアラウ者ガ、サウ云フ質問ヲ爲サレテハ困ル、一體勞働團體ト云フ文字ヲ使ッテ譯ニ付テハ、此字ハ伸縮自在デアルト言ウタガ其通りデアル、是カラ先組合法ガ制定致サレマス場合ニ於テハ、此團體ト云

○原(惣)委員 今勞働團體ノ意義ガ伸縮自在デ色ミニ之ヲ考ヘルコトガ出來ルト云フ御言葉ガアリマシタガ、私決シテ足ヲ掬フヤウナコトハ申シマセヌガ、ソレナラバ尙更勞働組合法ト云フモノハ如何ナル範圍ニ於テ此勞働組合ヲ認ルヤ否ヤト云フコトニナッテ、勢ヒ其根柢ニ於テ此勞働爭議調停法案ノ第十九條ニ非常ナル牽聯ヲ持ッテ來ルト思ヒマス、隨テ尙更此勞働組合法其モノヲ一緒ニ、一括シテ討論ヲ致ス方ガ自ラノ爲ニモ宜イデハナイカト思ヒマスカラ、其意味ニ於テ何故サウ云フ牽聯アルニ拘ラズ一方ヲ先ニシテ別々ニヤッテ行カレルヤ、サウシテ原君自身ガ勞働組合法ニ對シテ如何ナル御意見ヲ持ッテ居ラル、カ、ソレヲ發表サレズニ是ハ伸縮自在ノモノデアルト仰セラレ

○木暮委員 只今原君カラ御提出ニナリマシタ修正案ノ説明ト、ソレカラ田中君ノソレニ對スル賛成演説ヲ拜聽シ

○長岡政府委員 木暮君カラ御質問デゴザイマシタガ、私ノ聞誤リカハ存ジマセヌガ、只今ノ前ノ御演説中ニハ、治安警察法ノ代リニ爭議調停法ヲ出シタト云フコトハ、ハッキリシタ御言葉ハナカツタヤウニ思ヒマス、又政府ノ所見ハ過日來委員會各位ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲタ通りデアリマス

○原(夫)委員 原惣兵衛君トモアラウ者ガ、サウ云フ質問ヲ爲サレテハ困ル、一體勞働團體ト云フ文字ヲ使ッテ譯ニ付テハ、此字ハ伸縮自在デアルト言ウタガ其通りデアル、是カラ先組合法ガ制定致サレマス場合ニ於テハ、此團體ト云

○原(惣)委員 今勞働團體ノ意義ガ伸縮自在デ色ミニ之ヲ考ヘルコトガ出來ルト云フ御言葉ガアリマシタガ、私決シテ足ヲ掬フヤウナコトハ申シマセヌガ、ソレナラバ尙更勞働組合法ト云フモノハ如何ナル範圍ニ於テ此勞働組合ヲ認ルヤ否ヤト云フコトニナッテ、勢ヒ其根柢ニ於テ此勞働爭議調停法案ノ第十九條ニ非常ナル牽聯ヲ持ッテ來ルト思ヒマス、隨テ尙更此勞働組合法其モノヲ一緒ニ、一括シテ討論ヲ致ス方ガ自ラノ爲ニモ宜イデハナイカト思ヒマスカラ、其意味ニ於テ何故サウ云フ牽聯アルニ拘ラズ一方ヲ先ニシテ別々ニヤッテ行カレルヤ、サウシテ原君自身ガ勞働組合法ニ對シテ如何ナル御意見ヲ持ッテ居ラル、カ、ソレヲ發表サレズニ是ハ伸縮自在ノモノデアルト仰セラレ

○木暮委員 只今原君カラ御提出ニナリマシタ修正案ノ説明ト、ソレカラ田中君ノソレニ對スル賛成演説ヲ拜聽シ

○長岡政府委員 木暮君カラ御質問デゴザイマシタガ、私ノ聞誤リカハ存ジマセヌガ、只今ノ前ノ御演説中ニハ、治安警察法ノ代リニ爭議調停法ヲ出シタト云フコトハ、ハッキリシタ御言葉ハナカツタヤウニ思ヒマス、又政府ノ所見ハ過日來委員會各位ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲタ通りデアリマス

○原(夫)委員 原惣兵衛君トモアラウ者ガ、サウ云フ質問ヲ爲サレテハ困ル、一體勞働團體ト云フ文字ヲ使ッテ譯ニ付テハ、此字ハ伸縮自在デアルト言ウタガ其通りデアル、是カラ先組合法ガ制定致サレマス場合ニ於テハ、此團體ト云

○原(惣)委員 今勞働團體ノ意義ガ伸縮自在デ色ミニ之ヲ考ヘルコトガ出來ルト云フ御言葉ガアリマシタガ、私決シテ足ヲ掬フヤウナコトハ申シマセヌガ、ソレナラバ尙更勞働組合法ト云フモノハ如何ナル範圍ニ於テ此勞働組合ヲ認ルヤ否ヤト云フコトニナッテ、勢ヒ其根柢ニ於テ此勞働爭議調停法案ノ第十九條ニ非常ナル牽聯ヲ持ッテ來ルト思ヒマス、隨テ尙更此勞働組合法其モノヲ一緒ニ、一括シテ討論ヲ致ス方ガ自ラノ爲ニモ宜イデハナイカト思ヒマスカラ、其意味ニ於テ何故サウ云フ牽聯アルニ拘ラズ一方ヲ先ニシテ別々ニヤッテ行カレルヤ、サウシテ原君自身ガ勞働組合法ニ對シテ如何ナル御意見ヲ持ッテ居ラル、カ、ソレヲ發表サレズニ是ハ伸縮自在ノモノデアルト仰セラレ

○木暮委員 只今原君カラ御提出ニナリマシタ修正案ノ説明ト、ソレカラ田中君ノソレニ對スル賛成演説ヲ拜聽シ

○長岡政府委員 木暮君カラ御質問デゴザイマシタガ、私ノ聞誤リカハ存ジマセヌガ、只今ノ前ノ御演説中ニハ、治安警察法ノ代リニ爭議調停法ヲ出シタト云フコトハ、ハッキリシタ御言葉ハナカツタヤウニ思ヒマス、又政府ノ所見ハ過日來委員會各位ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲタ通りデアリマス

○原(夫)委員 原惣兵衛君トモアラウ者ガ、サウ云フ質問ヲ爲サレテハ困ル、一體勞働團體ト云フ文字ヲ使ッテ譯ニ付テハ、此字ハ伸縮自在デアルト言ウタガ其通りデアル、是カラ先組合法ガ制定致サレマス場合ニ於テハ、此團體ト云

○原(惣)委員 今勞働團體ノ意義ガ伸縮自在デ色ミニ之ヲ考ヘルコトガ出來ルト云フ御言葉ガアリマシタガ、私決シテ足ヲ掬フヤウナコトハ申シマセヌガ、ソレナラバ尙更勞働組合法ト云フモノハ如何ナル範圍ニ於テ此勞働組合ヲ認ルヤ否ヤト云フコトニナッテ、勢ヒ其根柢ニ於テ此勞働爭議調停法案ノ第十九條ニ非常ナル牽聯ヲ持ッテ來ルト思ヒマス、隨テ尙更此勞働組合法其モノヲ一緒ニ、一括シテ討論ヲ致ス方ガ自ラノ爲ニモ宜イデハナイカト思ヒマスカラ、其意味ニ於テ何故サウ云フ牽聯アルニ拘ラズ一方ヲ先ニシテ別々ニヤッテ行カレルヤ、サウシテ原君自身ガ勞働組合法ニ對シテ如何ナル御意見ヲ持ッテ居ラル、カ、ソレヲ發表サレズニ是ハ伸縮自在ノモノデアルト仰セラレ

○木暮委員 只今原君カラ御提出ニナリマシタ修正案ノ説明ト、ソレカラ田中君ノソレニ對スル賛成演説ヲ拜聽シ

○長岡政府委員 木暮君カラ御質問デゴザイマシタガ、私ノ聞誤リカハ存ジマセヌガ、只今ノ前ノ御演説中ニハ、治安警察法ノ代リニ爭議調停法ヲ出シタト云フコトハ、ハッキリシタ御言葉ハナカツタヤウニ思ヒマス、又政府ノ所見ハ過日來委員會各位ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲタ通りデアリマス

○原(夫)委員 原惣兵衛君トモアラウ者ガ、サウ云フ質問ヲ爲サレテハ困ル、一體勞働團體ト云フ文字ヲ使ッテ譯ニ付テハ、此字ハ伸縮自在デアルト言ウタガ其通りデアル、是カラ先組合法ガ制定致サレマス場合ニ於テハ、此團體ト云

○原(惣)委員 今勞働團體ノ意義ガ伸縮自在デ色ミニ之ヲ考ヘルコトガ出來ルト云フ御言葉ガアリマシタガ、私決シテ足ヲ掬フヤウナコトハ申シマセヌガ、ソレナラバ尙更勞働組合法ト云フモノハ如何ナル範圍ニ於テ此勞働組合ヲ認ルヤ否ヤト云フコトニナッテ、勢ヒ其根柢ニ於テ此勞働爭議調停法案ノ第十九條ニ非常ナル牽聯ヲ持ッテ來ルト思ヒマス、隨テ尙更此勞働組合法其モノヲ一緒ニ、一括シテ討論ヲ致ス方ガ自ラノ爲ニモ宜イデハナイカト思ヒマスカラ、其意味ニ於テ何故サウ云フ牽聯アルニ拘ラズ一方ヲ先ニシテ別々ニヤッテ行カレルヤ、サウシテ原君自身ガ勞働組合法ニ對シテ如何ナル御意見ヲ持ッテ居ラル、カ、ソレヲ發表サレズニ是ハ伸縮自在ノモノデアルト仰セラレ

○木暮委員 只今原君カラ御提出ニナリマシタ修正案ノ説明ト、ソレカラ田中君ノソレニ對スル賛成演説ヲ拜聽シ

○長岡政府委員 木暮君カラ御質問デゴザイマシタガ、私ノ聞誤リカハ存ジマセヌガ、只今ノ前ノ御演説中ニハ、治安警察法ノ代リニ爭議調停法ヲ出シタト云フコトハ、ハッキリシタ御言葉ハナカツタヤウニ思ヒマス、又政府ノ所見ハ過日來委員會各位ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲタ通りデアリマス

○原(夫)委員 原惣兵衛君トモアラウ者ガ、サウ云フ質問ヲ爲サレテハ困ル、一體勞働團體ト云フ文字ヲ使ッテ譯ニ付テハ、此字ハ伸縮自在デアルト言ウタガ其通りデアル、是カラ先組合法ガ制定致サレマス場合ニ於テハ、此團體ト云

○原(惣)委員 今勞働團體ノ意義ガ伸縮自在デ色ミニ之ヲ考ヘルコトガ出來ルト云フ御言葉ガアリマシタガ、私決シテ足ヲ掬フヤウナコトハ申シマセヌガ、ソレナラバ尙更勞働組合法ト云フモノハ如何ナル範圍ニ於テ此勞働組合ヲ認ルヤ否ヤト云フコトニナッテ、勢ヒ其根柢ニ於テ此勞働爭議調停法案ノ第十九條ニ非常ナル牽聯ヲ持ッテ來ルト思ヒマス、隨テ尙更此勞働組合法其モノヲ一緒ニ、一括シテ討論ヲ致ス方ガ自ラノ爲ニモ宜イデハナイカト思ヒマスカラ、其意味ニ於テ何故サウ云フ牽聯アルニ拘ラズ一方ヲ先ニシテ別々ニヤッテ行カレルヤ、サウシテ原君自身ガ勞働組合法ニ對シテ如何ナル御意見ヲ持ッテ居ラル、カ、ソレヲ發表サレズニ是ハ伸縮自在ノモノデアルト仰セラレ

○木暮委員 只今原君カラ御提出ニナリマシタ修正案ノ説明ト、ソレカラ田中君ノソレニ對スル賛成演説ヲ拜聽シ

○長岡政府委員 木暮君カラ御質問デゴザイマシタガ、私ノ聞誤リカハ存ジマセヌガ、只今ノ前ノ御演説中ニハ、治安警察法ノ代リニ爭議調停法ヲ出シタト云フコトハ、ハッキリシタ御言葉ハナカツタヤウニ思ヒマス、又政府ノ所見ハ過日來委員會各位ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲタ通りデアリマス

○原(夫)委員 原惣兵衛君トモアラウ者ガ、サウ云フ質問ヲ爲サレテハ困ル、一體勞働團體ト云フ文字ヲ使ッテ譯ニ付テハ、此字ハ伸縮自在デアルト言ウタガ其通りデアル、是カラ先組合法ガ制定致サレマス場合ニ於テハ、此團體ト云

○原(惣)委員 今勞働團體ノ意義ガ伸縮自在デ色ミニ之ヲ考ヘルコトガ出來ルト云フ御言葉ガアリマシタガ、私決シテ足ヲ掬フヤウナコトハ申シマセヌガ、ソレナラバ尙更勞働組合法ト云フモノハ如何ナル範圍ニ於テ此勞働組合ヲ認ルヤ否ヤト云フコトニナッテ、勢ヒ其根柢ニ於テ此勞働爭議調停法案ノ第十九條ニ非常ナル牽聯ヲ持ッテ來ルト思ヒマス、隨テ尙更此勞働組合法其モノヲ一緒ニ、一括シテ討論ヲ致ス方ガ自ラノ爲ニモ宜イデハナイカト思ヒマスカラ、其意味ニ於テ何故サウ云フ牽聯アルニ拘ラズ一方ヲ先ニシテ別々ニヤッテ行カレルヤ、サウシテ原君自身ガ勞働組合法ニ對シテ如何ナル御意見ヲ持ッテ居ラル、カ、ソレヲ發表サレズニ是ハ伸縮自在ノモノデアルト仰セラレ

○木暮委員 只今原君カラ御提出ニナリマシタ修正案ノ説明ト、ソレカラ田中君ノソレニ對スル賛成演説ヲ拜聽シ

○長岡政府委員 木暮君カラ御質問デゴザイマシタガ、私ノ聞誤リカハ存ジマセヌガ、只今ノ前ノ御演説中ニハ、治安警察法ノ代リニ爭議調停法ヲ出シタト云フコトハ、ハッキリシタ御言葉ハナカツタヤウニ思ヒマス、又政府ノ所見ハ過日來委員會各位ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲタ通りデアリマス

日ト雖モ修正ノ理由ガ、世間ニ誤リ傳ヘラル、コトヲ悞レマシテ、此修正案ニ賛成スル所以ヲ述ベテ置キタイト思フノデアリマス、茲ニ四ツノ點ヲ舉ゲテ置キマス、其第一ハ治安警察法トノ關係デアリマス、今政府ノ方カラハ治安警察法ト爭議調停法トハ關係ナシト云フ從前ノ御主張ヲ繰返サレテ居リマス、又表面上ニハサウデアリマス、併ナガラ政治ハ實際デアリマシテ、何ト申シテモ此兩案ハ内部ニ於テ關係ヲ以テ居リマス、今原君ノ御主張ニ依テ此調定法ヲ通過セシムルト云フコトハ、政治上ハ矢張治安警察法第十七條ヲ撤廢スルト云フコトニナル、此治安警察法第十七條ト云フモノハ、實ニ吾々ノ長ク戦ヒ來ッタモノデアリマス、第四十三議會以來ノ歴史ヲ考ヘテ見マシテモ、轉今昔ノ感ニ堪ヘナイノデアリマスガ、茲ニ大正三年以後我國ノ勞働運動家又ハ勞働者ガ、此治安警察法第十七條ニ引懸ッテ自己ノ生存權ヲ主張シテ居リナガラ可憐圉圉ノ身トナッタ計數ガ茲ニアリマス、是等ノ靈ヲ吊フ爲ニ今舉ゲテ見マスルト、大正三年カラ十三年ニ至ル約十年ノ間ニ於テ、件數ニ於テハ百五十三件、人員ニ於テハ實ニ千百五十餘人ノ多數ノ人、ガ治安警察法ノ第十七條ニ依テ圉圉ノ身ト相成ッテ居ルノデアリマス、此惡法ヲ今帝國議會ニ於テ廢止スルト云フ事ハ、此五十議會ニ於テハ記念スベキ一事業デ

アルト思フノデアリマス、色々理窟ヲ申セバ問題モアリマス、又吾々原惣兵衛君ト同ジク法律家ノ出身デアリマスカラ細カナ事ヲ申セバ色々理窟ガ附キマスクレドモ、兎モ角モ積年懸案タリシ第十七條ヲ撤廢スルト云フ大目的ノ爲ニ、原夫次郎君ノ修正ニ賛成スルノガ、是レ第一點デアリマス、ソレカラ第二、原君ノ修正ハ勸誘ヲ誘惑煽動ニ引辰シテ居リマス、是亦重大ナル意義ガアルコトデアリマシテ、同盟罷業ソレ自身ガ權利行爲デアリ、若クハ放任行爲デア、總理大臣ノ言葉ヲ以テ言ヘバ放任行爲ト言ハレマスガ、又權利行爲ト言テモ、謂ハハ處罰サレナイ行爲ハ權利行爲デ心身自由ノ權利デア、所ガ同盟罷業ガ權利行爲デア、ト言ヒナガラ何等惡性ヲ含マザル單純ノ勸誘ガ罰セラレ、罷業ノ勸誘ガ罰セラ、ト云フコトニナレバ、矢張罷業ト云フモノガ惡性ノモノデア、放任行爲デナイト云フコトヲ燒印スルノデアリマス、デ之ヲ誘惑煽動ト云フ文字ニ直シテ多少惡性ヲ持ッタ意味ガ加ッテ始メテ罪ニナルト云フコトデ、同盟罷業ハ權利行爲デア、ト云フコトノ將來發達ヲ導ク門戸デアリマス、政府ノ原案ハ遺憾ナガラ此門戸ヲ鎖サントスル傾向ガアリマシタガ、原夫次郎君ノ提案ニ依テ、此門戸ヲ引開ケテ置クト云フコトハ甚ダ宜イ修正デア、ト思フ、大審院ノ判例ニ誘惑煽動モ勸誘說得モ同ジコトデア

ト裁判ハシテ居リマス、其事ハ私モ承知致シテ居ル、併ナガラ裁判ハ其事件限リノ判斷デア、實ハソレ等ノ案件ヲ見テ見ルト云フト、矢張事實ハ幾分誘惑煽動ニ傾イテ居ル時代デアリマスルガ故ニ、裁判ノ上ニ於テ勸誘說得ト云フ言葉ヲ使ヒ來ッタンデアリマスケレドモ、何ト云フテモ煽動ハ先般申ス通り、風ニ依テ火ヲ煽ルガ如キモノデアリ、誘惑ハ人ノ心ヲ惑ハスモノデア、人ヲ惑ハシ人ヲ煽テ、竝ナラヌ所ノ事ヲシマスレバ、始メテ同盟罷業ノ勸誘ガ惡クナルノデア、平穩ナル同盟罷業ノ勸誘ハ之ヲ罰スベキモノデナイト云フ大原則ヲ此所決メテ置キマスルト、世ノ中ハ日本ダケデハナク世界各國共是カラ勞働立法ニ進ムノデアリマスルガ、此門ヲ一ツ開ケテ置クト云フコトハ、洵ニ意義アル重大ナル修正案デアリマシテ、原惣兵衛君ノ質問ニ名ヲ藉ッテ攻撃サレテ居ルヤウニ獨創ノ意見ノナイ修正デハナイ、非常ニ獨創ノ見解ノ加ッテ修正デアルト云フコトガ明瞭デアラウト思ヒマス、是ガ原夫次郎君ノ修正ニ賛成スル第二ノ理由デアリマス、ソレカラ第三ト致シマシテ調停デス、我國ノ調停ノ實際ハドウデア、ルカト云フト、今更申スマデモアリマセスガ、勞働運動ガ起リ同盟罷業ガ起リ、怠業ガ起ルト云フト、先第一ニソレニ手ヲ出スノハ誰カト云フト警察官デア、警察官ガ其中ノ首謀者

ニ相當スル者ヲ、或ハ從前ナレバ治安警察法第十七條、或ハ行政執行法、是等ノ法規ヲ以テ之ヲ拘留檢束、——拘束シテ置イテサウシテ勞働爭議ハ早く調停シナケレバナラス、此土地ノ治安ニ害ガアルト言ウテ事ヲ治安ニ託シテ、警察權ヲ以テ之ヲ調停セント欲スル、ソコ出テ來ルノハ誰デア、ルカト云フト、彼ノ國粹會ノ顔役デア、ル、引張ッテ居ル人ハ俺ガ預ル、マア歸サシテ貰ヒタイト言ッテ伴レテ歸ル、先ヅ勞働者ニ恩義ヲ著セテアル、恩義ノ貸ガアル、今度ハ資本家側ハドウデア、ルカト云フト、國粹會ノ人々ハ資本家ニ向ッテハ相當ニ脅シガ利キマス、片方ニハ貸ガアル、片方ニハ脅シガ利ク、此威壓ヲ以テ今迄ノ勞働爭議ハ解決サレツ、アル、同盟罷業ニナッテシマッタモノダケデモ一年ニ三百件、罷業ニ及バザルモノニ至ッテハ七八百件乃至一千件ニ達シマセウ、是等ノモノハ、斯ノ如キ文明國ニ於キマシテ公正ナラザル解決ヲ見ツ、アルノデアリマスルガ、之ヲ正シキ調停機關デ以テ調停スルト云フコトハ、一日ヲ緩ウス可カラザル急務デアリマス、勞働組合法モサルコトナガラ組合法ノ有無ニ拘ラズ、ドウシテモ此調停ヲ公正ニスルト云フコトハ必要ナ事デア、ト思フ、勞働組合法ヲ持タザル國デモ、爭議調停或ハ爭議仲裁ノ制度ヲ立ッテ居ルコトハ、諸君御承知ノ通りデアリマス、ソレ故ニ院ノ内外ヲ問ハズ、此委

大正十五年三月十七日

八

員會ヲ組合法ヨリモ先ニ調停法ノ立案ヲ急イダト云フコトニ付テハ、誤解ナカランコトヲ希望致シマス、組合法ハ多少理解ノ問題

ツノ重大ナル理由ガアリマスルガ故
ニ、吾々ハ雙手ヲ舉ゲテ此修正案ニ賛
成スル者デアリマス

バ今日デモ其通リト考ヘマス、唯併シ
 是ハ法律的以外ニ聞ク人ノ感情ニドウ
 云フ響キガアルカ、又其裏ニアル同盟

○原(夫)委員 一寸御質問ノ要點ヲ解シ兼ネマシタカラ、モウ一度御述ヲ願ヒマス

目前ノ問題デアル、東京市ニシロ今調停法ガアレバ直グ納マル爭議ガ東京市ダケデモ今目前ニアル、調停法ガナイバカリニ誰ガ此所ヘ踏出スト云フコトモ出来ズニ、曠日彌久既ニ二箇月ニ互テ居リマス、デアリマスカラ、此調停法ヲ引離シテ、玆ニ審議シタイト云フコトハ洵ニ理窟ガアリマス、是レ修正ニ賛成スル第三ノ點デアリマス、第四ニ政府原案デハ後ノ註釋ヲ讀ミマスルト、同ジク當事者デアッテモ、第二條ノ當事者ト十九條ノ當事者ト違フ、此註釋ハ結構デアルケレドモ、立案者ノ意思ハ法律ノ意思ニアラズ、法律ノ意思ハ裁判官之ヲ定メルト云フノデアリマス、此委員會デ左様ナ註釋ヲ御讀ミ下サッテモ、是ハ何處ヘ行クカト云フト、委員會ノ筆記ヲ持タザル所ノ全國ノ裁判官ガ之ヲ裁判スルノデアリマス、原夫次郎君ノ言ハル、如ク、刑罰法令デアリマスカラ、些ノ疑義ヲ生ジテハナリマセヌ、斯様ナ疑義ハ益勞働運動ヲ惡化セシメルノデアリマカスルガ故ニ、玆ニ明ニ十九條ニ於テ如何ナルモノガ誘惑煽動ヲ爲シテハナラナイカ、如何ナル場合ニ是ガ罰セラル、カト云フコトヲカキリト致シタコトハ、是亦此修正ノ功勞ト思ヒマス、以上四

寧ナル御賛成ノ御演說ヲ拜見致シマシタ〔拜見カ〕ト呼ブ者アリ〔拜見ダ——サウ致シマス〕ト是デ政府委員ハ誘惑煽動ト云フ事モ勸誘ト云フ事モ同ジコトデアルカラ、サウ御考ヘ下サツテモ別ニ差支アリマセヌト云フコトヲ長岡政府委員ハ仰セニナツタ、今清瀬君ノ御説明ニ依リマス、誘惑煽動ト勸誘ト云フ事ハ非常ニ違フノダカラト云フ意味デ、所謂獨創ノ見解デアルト云フ說モアルガ、吾々ハ大審院ノ判例モ同ジデアツテ、同一デアルカラ何等獨創ノ見解ガ無イノデハナイカト申シタノデア、政府委員ハ果シテ勸誘ト云フ言葉ト、玆ニ謂フ誘惑若クハ煽動ト云フ言葉トハ區別ガアルト仰セニナリマスカ、ナイト仰セニナリマスカ、其點ヲ過般ノ御説明ニ關聯シテ御答辯ヲ願ヒマス

○長岡政府委員　只今ノ原君ノ御質問ニ對シテハ過般ノ委員會ニ於テ御答申上ゲマシタ通り、大審院ノ判例ニ依レバ誘惑煽動ト云フ文字ハ、勸誘說得ト云フ意味ニ解サレテ居ル、此大審院ノ判決ガ善イカ惡イカト云フコトハ別トシテ、過去ノ大審院ノ判決ニ依テハ同ジ意味ニ解釋サレテ居ルト、斯ウ云フ事ヲ申上ゲタノデ、法律的ニ申上ゲレ

ト云フコトニ影響ヲ及ボスト云フヤウ
ニ御考ヘニナレバ、ソレハ各自ノ意見
ノ差デ、法律問題トシテハ大審院ノ判
決ト云フモノヲ尊重スル以上ハ、其善
惡ハ別トシテ、先ヅ文字ノ法律上ノ意
義ハ同一ト解釋スル外ハナイト考ヘマ
ス

○原(惣)委員 サウ致シマス、結局政
府ハ勸誘ト云フ言葉ト同一ニ解シテ同
意セラレタノデアリマスカ、ドウデア
リマスカ

○長岡政府委員 其事ハ先程俵政務次
官ヨリ御答ヘ申上ゲタ通りデゴザイマ
ス

○原(惣)委員 サウスルト、只今清瀬
君ノ誘惑煽動ハ勸誘ト違フノダカラト
申シタ時ニ、是ハ私議デアリマスケレ
ドモ、原君ハ今ノ清瀬君ノ答ノ通りダ
ト云フコトヲ仰セニナリマシタガ、サ
ウ致シマス、本田君ガ京成電車ノ事
ニ付テ、怠業ダトカ何トカ申シテ、マダ
罷業マデハ行カヌガ、妙ナ事ヲ言ッテ來
テ困ルンダト云フヤウナ點ニ付テノ御
質問ガアリマシタヤウデアリマスガ、
サウスルト、誘惑煽動以外ノ勸誘ハ、幾
ラヤツテモ差支ナイト云フ御意思デア
リマスルカ如何デアリマスルカ、此點
ニ付テハ原サンニ御尋ネシマス

相違ガアルト云フコトナラバ、勸誘ヲスルコトハ、幾ラヤツテモ宜シイト云フ御考デアルカラ御質問致スノデアリマ
ス
○原(夫)委員 現行法ノ治警十七條ノ誘惑煽動ト云フ文字ハ、只今ノ爭議調停法中ノ誘惑ト云フ文字ト、是ハ同意義デアルカドウカト云フコトニ付テハ、各自意見ガゴザイマスガ、大審院ノ判例ナルモノハ、先程清瀨君ガ言ハレタ如ク、是ハ事件々々ニ依テ、或ル時ニハ同一ニ解セラレ、或ル場合ニ於テハ別ニ解セラレルノデアリマス、又大審院ノ判例ハ法律ヲ動カスベキモノデナイノハ申スマデモナイ、政府當局ハ大部大審院ヲ楯ニ取ツテ、恰モ是ガ法文ト同様ナモノデアルヤウニ仰シヤッタノデアリマスルガ、大審院ノ判例ナルモノハ、時ニ依テ總會議ヲ開イテ色ミニ變更ヲ爲スノデアリマス、ソコデ矢張是ハ清瀨君ガ言ハレタノガ正シイノデアリマス、即チ誘惑煽動ト云フコト、勸誘ト云フコトハ、文字自體ニ於テ異ルガ如ク、其意義モ矢張異ツテ居ルノデアリマス、唯大審院ガ之ヲ解シテ、相似タルモノデアルト云フノハ、是ハ大審院ノ法律解釋デアリマス、大審院ガ斯ノ如ク解シタカラト申シテ、日本全國ノ

裁判官ハ、皆其意見ノ通りニ判決ヲ下
スモノデモ何デモナイノデアリマス、
或ル裁判所ガ大審院ノ從來ノ判例ニ反
シタル判決ヲシタ場合ニハ、大審院ハ
其地方裁判所等ノ判決ヲ尊重シテ、總
會ヲ開イテ、更ニ其意義ヲ變更スルコ
トモアリマスカラ、是ハ清瀬君ノ意見
ノ通り、文字ノ相違ノ如クニ、人間ノ顔
ノ形ガ變テ居ッテ、其意見ノ相違ガア
ル如クニ、各意義ガ異ルノデアリマス、
ソレヲ私ノ鑑定ニ基イテ修正シタノデ
アリマスカラ、此點カラ言フト、私ノ獨
創ノ修正説デアッタノデアリマス

○原(惣)委員 サウ云フヤウニ相違ガ
アルトスレバ、勸誘ハ幾ラヤッテモ、是
ハ處罰規定ノ範圍ニ這入ラナイカト云
フコトヲ御尋ネスルノデアリマス

○原(夫)委員 ソレハ其通りデアリマ
ス、誘惑煽動ト云フ文字ノ中ニ入ラナ
イ行爲ガアッタナラバ、ソレハ所謂裁判
所ノ判斷ニ委スノデアリマス、誘惑煽
動ト云フコトノ範圍外ニ涉ルモノハ、
是ハ無罪タラザルヲ得ナイノデアリマ
ス

○原(惣)委員 ソレデ能ク分リマシタ
ガ、サウスルト、清瀬君ノ獨創ト云フコ
トハ、全ク其意義ヲ成サヌコトニナル
ト思ヒマス

○安藤委員 只今治警ノ事モ一緒ニ
ヤッテ宜シウゴザイマスカ

○森田委員長 宜シウゴザイマス

○安藤委員 ソレデハ簡單ニ申シマス

ガ、吾々ハ勞働爭議調停法案ノ只今ノ
原案ノ修正案ニ反對ヲ致シマス共ニ、
勞働爭議調停法案ニ反對ヲ致シマス、而
シテ治安警察法中改正法律案ニハ、滿
幅ノ誠意ヲ以テ賛成ヲ表シマス、其理
由ハ追テ本會議ニ詳論ヲスル積リデア
リマスカラ、茲ニハ之ヲ略シマス

○森田委員長 別ニ御異議ガ無イヤウ
デアリマスルガ、採決ハ先ヅ原夫次郎
君ノ修正ノ部分ニ付テ採決ヲシマス、
次ニ其餘ノ原案、是ハ勞働爭議調停法
デゴザイマスガ、之ヲ採決シマス、ソレ
カラ次ニ治安警察法中改正法律案ト、
斯ウ云フ順序ニ依テ採決ヲ致シタイト
思ヒマス、原君ノ修正ニ賛成ノ方ノ舉
手ヲ願ヒマス

〔賛成者 舉手〕

○森田委員長 多數ト認メマス、其餘
ノ勞働爭議調停法案ノ全部ニ付キマシ
テ採決ヲ致シマス、此原案ニ賛成ノ方
ノ舉手ヲ願ヒマス

〔賛成者 舉手〕

○森田委員長 多數ト認メマス、即チ
修正動機ガ成立シマシテ、可決サレマ
シテ、其餘ハ原案ガ可決サレマシタ、次
ニ治安警察法中改正法律案、是ハ廢止
デアリマス——別ニ原案ニ反對ガ無イ
ヤウデアリマスカラ、原案通り可決致
シテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○森田委員長 御異議ナイト認メマ
ス、ソレデハ此二案ハ是デ決議ニナリ

マス、殘リマスル勞働組合法案ハ、山杓
君ノ御意見デハ、是ハ本日ハ審議ヲ延
スト云フコトデアリマス

○山杓委員 本日ハ審議ヲ延バシテ、
成ルベク速ニ討論採決スルヤウニ、委
員長ニ於テ御努力アランコトヲ希望ヲ
致シマス

○森田委員長 ソレデ御異議アリマセ
ヌカ

〔賛成〕「異議ナシ」ト呼フ者ア
リ

○森田委員長 ソレデハ本日ハ是デ散
會致シマス

午後四時三十一分散會

衆議院勞働爭議調停法案外一件委員會會議錄
第六回中正誤

頁	段	行	誤	正
二三	三	二〇	栗林	藏閣

衆議院勞働爭議調停法案外一件委員會會議錄
第七回中正誤

頁	段	行	誤	正
三四	一	二一	不當	正當

大正十五年三月十七日印刷

大正十五年三月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社